

# human

No.268  
2014.8

医療を通じて人ととのふれあいを広めるために  
ヒューマン(人)と名付けました。



「第19回 医仁会 納涼祭」

■ 救急指定・労災指定病院 **さくら総合病院** 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129  
(0587) 95-6711(代)

■ 老人保健施設 **さくら荘** 愛知県丹羽郡大口町新宮1-96  
(0587) 95-6722

■ 訪問看護ステーション **あすかビレッジ** 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)  
(0587) 95-8023

■ ヘルパーステーション **あすかビレッジ** 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)  
(0587) 95-8026

■ 居宅介護支援事業所 **あすかビレッジ** 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)  
(0587) 95-8027

■ デイケアセンター **御嶽** 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F)  
(0587) 95-8900

■ 有料老人ホーム **太郎と花子** 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10  
(0587) 95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>  
mail:sakura-koho@ijinkai.or.jp



## ドクターシリーズ

## 「当院のドクターについて」

さくら総合病院 救急部長  
山下 勝之

ドクターとは急病や労災・交通事故現場に医療スタッフが駆け付け、緊急処置を直ちに開始することを目的としております。ドクターへリを扱った報道番組やテレビドラマがありますが、救急現場に急行するにはドクターはドクターへリよりも小回りが利くこと、24時間稼働が可能である、天候にも左右されない、運用コストが安いこと、キャンセルにも十分対応できる事などにより、活動範囲が遠方ではない症例に対しては優位性があると言えます。

当院では2008年に道路交通法改正で緊急車両として認可された新型ドクター2台、従来型の救急車2台で運用しております。出動件数は平成21年度24件、平成22年度53件、平成23年度64件、平成24年度86件、平成25年度101件と、年度毎に増加しております。症例は交通事故や労災事故等の外傷患者が大半を占めています。

救命率を上げるために、明らかに重症と想定される症例では119番通報があった時点で、当院に情報を御連絡していただくようにしております。例えば高所からの転落、高エネルギー外傷で車外への放出、車内での救出困難、大きな機械に四肢を挟まれているといった事案では、一刻も早く傷病者に接触し、処置を開始することが、大事

であります。

当院では要請を受けてから、4分以内に病院を出るようにしております。以前は「ゼンリンの地図の何ページの何処」といった情報のため、現場に着くのに苦労することもありました。最近はIT技術の進歩により、位置情報を救急隊に入力していただくことで、現場まで、より早く安全に行くことが可能となっていました。具体的には、近隣の各消防にお渡ししてある携帯電話からiPadに位置情報を転送していただくことで、iPadがカーナビとして使用できるようになりました。

スタッフは医師が1-2名、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、事務職員で構成されています。患者さんに様々な職種の職員が現場から接触、観察することで、より多くの情報を収集することが可能となります。

現場では、病態に応じて、静脈路確保、気管挿管、緊急脱気、薬剤投与等の処置を行っております。また、現場で採血も行い、病院到着時にすぐに検査に回せるようにし





ドクターシリーズ

## 「当院のドクターカーについて」

さくら総合病院 救急部長  
山下 勝之

ております。搬送途中で、患者さんの情報を病院に連絡し、応援医師の要請、処置の準備や、緊急手術の可能性のある場合は手術室、麻酔科に連絡します。

当院では救急医療に対して、多くの職員が参加していただいております。出動スタッフの院内業務は他の職員がすぐに交代してくれるようになっており、他の患者さんに御迷惑をなるべくかけないようにしています。

ERに救急車が到着時には、既に応援医師が、また、緊急手術が予想される場合は麻酔科医師、手術室看護師が駆け付けています。また、御家族への連絡が時間を要しそうな場合は事務職員や相談員が専任で対応に

当たってくれています。医師は治療に専念できること、Flat panelのX線写真、ヘリカルCTのおかげで、検査は短時間で終え、処置を行うことが可能となっております。

稀にではありますが、救急出動中に更



に、他の出動の要請が入ることがあります。その際には病院にある、もう一台の救急車が出動することとなります。

また、通報内容より出動したものの、途中で軽症と判明してキャンセルとなる症例もあります。その際はすぐに帰院し、次の出動に備えるようにしております。

近年、交通事故以外の症例も見られるようになりました。例えば、高度脱水でショック状態に陥っている患者さんに動けなくなっている室内で十分輸液を行うことで、より安全に搬出を行えた症例や、蜂に刺され血圧が低下したものの現場でアドレナリンを投与し、来院時にはショックより離脱していた症例もありました。

通報内容より急性冠症候群が疑われる場合には循環器内科医師や当直内科医師が現場に赴き、明らかに心筋梗塞と診断された場合には現場で薬剤を投与し、緊急心カテーテルの準備をする体制や、大量吐下血の場合に緊急内視鏡の準備する体制づくりを構築しました。

上記のような内因性疾患に加えて、今後は高齢者施設での急変等でドクターカー要請症例も増えてくることも予想されます。

今後もさくら総合病院全職員で、救急医療に貢献していきたいと考えております。

## ナース物語

## 働く母ナース

外来

私は、二人目を出産後、下の子が11ヶ月の時に非常勤看護師として復職しました。もともと1歳になつたら働きはじめようかと考えていたので、託児所が併設されているこの病院に縁があり働くことになりました。

まだ下の子が小さい為、復職するにあたり不安もありました。最初は、母と離れる時に泣き泣きの我が子を見て、本当に自分は働いていいのか?と思うこともありました。しかし、園長先生やスタッフの方も良い人ばかりで、少しづつ子供も慣れてきたりと、ここの託児所に安心して預けることができました。

私の友人には、子供が3人いても夜勤をやってたり、認定看護師の資格をとった先輩もいます。私は、今は家庭の事情により、現在の働き方を選択し、働くことができる病院に恵まれました。子供の体調不良等により、どうしても仕事を休まなければならない時もありました。他のスタッフや患者さんにも迷惑をかけてしまい

ます。日本の親は「人に迷惑をかけてはダメですよ」と教えて、インドでは「お前は人に迷惑をかけて生きているのだから、人のことも許してあげなさい」と教えるそうです。今、私は子育ての中の働くママナースとして、周りの人達に迷惑をかけているかもしれません。将来子供が大きくなり、親の手がかからなくなった時、私がまだ看護の仕事をしていたら、若い子育て世代のナースを応援できるようになりたいと思っています。今、自分がわがままを聞いてもらっているであろう分の恩返しができたらと思っています。ここまでしても、仕事をしているのは、看護師の仕事が好きだからです。不平、不満、辞めたいと思うようなときもありますが、職場を離れていると、やはりこの世界に戻ってきたいと思う自分がいるのです。自分が出来る範囲のことは精一杯やり、どうしても無理な時は他人の力を借りる。今の自分にできることを日々一生懸命考えて看護をしている毎日です。

## 納涼祭を終えて —



2014年 納涼祭実行委員会  
松本 富夫

第19回医仁会 納涼祭は、7/5(土)太郎と花子にて開催されました。残念ながら途中より雨模様となり太郎と花子の館内での開催となりましたが、突然の変更にもかかわらず皆さんの頑張りで大きな事故、病人、食中毒を出すこともなく無事納涼祭を終えることが出来ました。悪天候の中、懸命に納涼祭を支えてくれましたスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。また、大口町長をはじめ、吹奏楽・和太鼓・鳴子踊り・盆踊り・ダッショマン・JA愛ちゃんなど数多くのボランティアの皆さん、お忙しい中で参加いただき納涼祭に花を添えて頂きました。心よりお礼申し上げます。そして、足もとの悪い中、多くの患者さん、ご利用者さん、ご家族さん、地域の皆さんのが来場され最後まで納涼祭を楽しんでいただきました。模擬店の食数は昨年の約1.5倍3,000食を用意しましたが、ほぼ完売するほどの盛況ぶり、お客様より「楽しかった」「おいしかった」「思い出に残る納涼祭でした…」等々、ありが

たいお言葉をたくさん頂戴しました。納涼祭を絶対に成功させたいという全スタッフの熱い思いが、素晴らしい納涼祭につながったものと思います。

本年度納涼祭は4月より納涼祭実行委員会を立ち上げ「医仁会ならではの納涼祭にしよう」をテーマに準備してきましたが、日頃お世話になっている皆様に感謝の気持ちを表す意味で『ありがとうポロシャツ』を企画致しました。スタッフ全員が同じユニフォームを着用し心を一つに最高の「おもてなし」をしよう、そして医仁会の職員魂を少しでもお客様に披露しようとの思いからでした。職員の皆さんより、たくさんのご寄付を頂きましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

いよいよ来年は20回目の記念すべき納涼祭となります。納涼祭を含め、ますます高まる地域の皆様の当法人に対する関心、期待に応えられるよう日々の業務に邁進していきたいと考えます。

## 医療技術ニュース

## 介護保険のススメ

医療相談室  
竹野 大介

医療ソーシャルワーカーの竹野です。医療ソーシャルワーカーってなにと思われる方も多いと思います。病気やケガによって生じる、社会的・心理的な問題を患者さんと一緒に考え、色々な制度を活用し関係する人たちの調整をして問題の軽減をしていくのが医療ソーシャルワーカーです。今回は介護保険制度の仕組みについてご説明させて頂きます。

みなさん、介護保険をご存知でしょうか。テレビの報道番組等で耳にしたことがあるかもしれません。介護保険を簡単に言うと「高齢者の介護を、社会全体で支え合おう!」というものです。お子さんが家を出ており、高齢者夫婦世帯や一人暮らしの高齢者が増えています。介護者が不在となる場合が多くあり、家族に介護者がいても、家事や育児と併せて介護となると、介護者の負担が大きくなってしまいます。介護者の負担を軽減し、住み慣れた地域で暮らせるよう、社会全体で支える仕組みとして導入されたのが介護保険です。



介護保険を使うには、要介護認定が必要です。お住まいの市町村にある介護保険の担当窓口で申請をすると、本人の状態について聴き取り調査(認定調査)があります。同時に、医学的な状態について、医師が意見書(主治医意見書)を作成します。両方が揃うと市町村で

審査があり、申請から1ヶ月ほどで認定の結果が出ます。認定結果が出ると、介護保険を利用して介護サービスを利用する事が出来ますが、サービスの種類がいっぱいあります。数十種類もあるサービスから必要なものを選択し調整するのは大変ですが、そのお手伝いをしてくれるのがケアマネジャーです。担当のケアマネジャーとよく話し合いながらサービスの種類や利用回数などを決めていきます。サービスを利用したら費用がかかりますが、利用料の9割を介護保険が負担し、利用者さんは1割の負担となります。

簡単に介護保険を解説させて頂きましたが、認定を受けてケアマネジャーに計画を作つてもらうところまでは無料ですし、認定を受けたからといって、サービスの利用をするかしないかは自由です。お金もかからず難しいこともありませんので、試しに認定を受けてみてはいかがでしょうか。医療や介護で気になることや、もっと詳しいことが聞きたいなどがありましたら、医療ソーシャルワーカーまでお気軽にお尋ねください。



# 知つ得情報

特定健診・特定保健指導をご存知ですか？

## ～さよなら生活習慣病！知つ得する!! メタボチェックと生活の改善～

平成20年4月から生活習慣病予防の徹底のため、メタボリックシンドロームに着目した新しい健診として始まりました。

生活習慣病は、日本人の死因の約2/3を占めています。これを防ぐことは、これから私たちの健康づくりにかかせません。

よい生活習慣を取り入れて脱メタボリックシンドロームを目指しましょう。

対象者	大口町、扶桑町にお住まいの40歳から74歳までの方で、国民健康保険に加入している方
内容	身体計測、血圧、血中脂質検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査、貧血検査、心電図検査、眼底検査
診査期間	7月1日(火)から10月31日(金) 対象者に受診票が送付されます。受診票を持って、さくら総合病院へ直接ご来院ください。
費用	1,000円

### 特定保健指導って？



健診で生活習慣病になる危険性が高いと分かった!  
「どうしよう!!」



生活全部を変える必要はありません。あなたに効果的な  
生活改善ポイントを見つけて無理なくできる、生活習慣病に  
進行しないための保健指導(具体的なアドバイス)が受けられます。

## ニューフェース紹介

6月に入社した4名の新入職員をご紹介します

### 看護部

看護師  
**河田 さおり**  
Saori Kawada



元気に笑顔でがんばります。

### 栄養科

管理栄養士  
**松本 裕真**  
Yuma Matsumoto



一日も早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるよう精一杯がんばります。よろしくお願ひします。

### 秘書課

事務  
**板津 央奈**  
Hirona Itatsu

弓道とダイビングが大好きです。精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。



### ヘルパーあすか

ヘルパー  
**宇野 翔太**  
Shota Uno



早くみなさんのお役に立てるよう、がんばります。

## 情報ステーション

催し・トピックスをお知らせします

### 第37回 健康を守る教室

日 時：平成26年8月23日(土) 13時～14時

場 所：コンドル館1階ロビー

参加費：無料

講 師：消化器病センター 医師 白井勇作

テーマ：「胃がん～内視鏡による早期発見、早期治療～」

#### トピックス

#### 関脇 豪栄道関が慰問に 来てくださいました

関脇・豪栄道関が「デイケア 御嶽」へ慰問に来てくださいました。ファンが多く皆さん大興奮です。関取から多くの元気をもらいました。名古屋場所前のお忙しい中、有難うございます。応援してます。



## イベント食

療養病棟・回復期病棟に入院中の患者さんを対象に  
イベント食を実施しています。

まだまだ残暑の続く季節ですので、素朴でありながらも優しく、深みのある「麦とろ御膳」を企画いたしました。栗羊羹もお楽しみください。

献 立：麦とろご飯、メロウの照焼き、炊き合わせ、たこときゅうりの酢の物、清まし汁、栗羊羹

日 時：9月11日(木)12:30～

コンドル館1階・2階病棟

9月12日(金)12:30～

コンドル館4b病棟

金 額：お一人様 ¥900(税込)

申し込み〆切日：平成26年8月31日(日)

案内状・申し込み用紙は  
診療費の請求書に同封します

※献立内容・金額は一部変更になることがあります。  
ご了承ください。



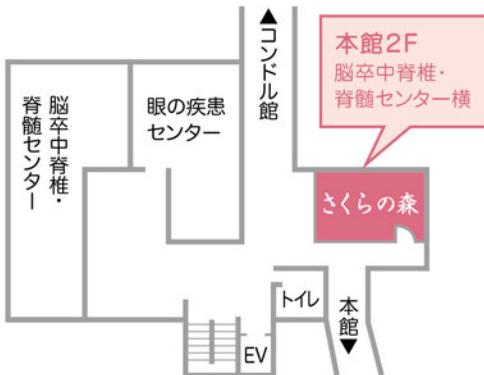


## さくらの森通信

さくらの森は、患者さんご自身が病気や治療法などについて、学び調べ、理解を深めるためのお手伝いをすることを目的として設立された図書室です。

### 利用時間

月曜日から金曜日  
9時～12時、13時～17時  
(土曜日・日曜日・祝日はお休み)



### 今月の図書紹介

#### 脳梗塞の防ぎ方・治し方 | 高木 誠

突然起る脳梗塞。4.5時間以内の治療開始が生死を分ける。

体の半身に力が入らない、ろれつが回らない……。見過ぎがちな症状は脳からのSOSサイン! 前ぶれ症状から再発を防ぐ治療法まで徹底図解。

適切な治療法から後遺症を残さないためのリハビリ法までをイラストでわかりやすく解説。

### …先月の図書貸出ランキング

**海賊とよばれた男(上)**  
百田 尚樹

20世紀の産業を興した巨大エネルギー・石油。その石油を武器に変えて世界と闘った男とはいっていい何者か?

**海賊とよばれた男(下)**  
百田 尚樹

待ち構えるのは、英國海軍。「日章丸事件」に材をとった、圧倒的感動の歴史経済小説、ここに完結。歴史ドキュメント小説の傑作。

**ケルベロスの肖像**  
海堂 尊

「東城大学病院を破壊する」送られてきた一通の脅迫状。田口&白鳥の凸凹コンビは病院を守ることができるのか。